



トキガイド検定・トキ博士合格者の表彰式を行います

市では、ト

キ野生復帰への取り組みの一環として、トキの生態や佐渡の情報等を提供して現地案内ができる「トキガイド」を養成する



トキガイド養成講座の様子

ための講座を開設しています。

平成27年度の受講生は69人、全6回の講座が終了し、3月27日(日)に検定試験が行われました。また、トキや佐渡を愛し、幅広い知見を有する方を「トキ博士」として認定するトキ博士検定もこの日同時に行われました。試験問題はどちらも同じ内容ですが、トキガイド合格者が6割以上正解で合格なのに対し、トキ博士は8割以上正解で合格と難関。毎年多くの方がチャレンジしています。今年は何人の合格者が出たのでしょうか。

なお、合格者を対象とした表彰式を次のとおり行います。

日時 4月29日(金・祝)

午前10時～正午

場所 トキ交流会館

(新穂潟上1101-1)

※対象者には別途お知らせします。

第14回トキ放鳥に向けた訓練開始

3月3日、佐渡トキ保護センター

野生復帰ステーションの順化ケージにおいて、6月上旬頃の放鳥に向けて、飛翔・採餌等の能力を身につけるための順化訓練を開始しました。



順化ケージへの放鳥(環境省提供)

訓練を開始した個体は、オス17羽、メス2羽の合計19羽で、放鳥個体の遺伝的多様性を確保するため、中国から2007年に供与されたオスの華陽(ホアヤン)の子孫にあたる個体が4羽およびメスの溢水(イーシューイ)の子孫にあたる個体が2羽含まれています。

市役所農林水産課

トキ政策係(トキ交流会館内)

☎24-6040

ネットワークを広げよう!

「ジオパーク」は、保全・教育・地域振興の3つの柱を循環させて持続可能な社会を作ることが目指されています。したがって、ジオパークに取り組み推進地は、自分たちの暮らしている地域を見直し、その大地に適した事業について、試行錯誤を重ねながら推進します。しかし、その地域だけではなかなか上手くいかない時に相談するのが、ジオパークのネットワークです。

ネットワークの最大の特徴は、成功事例の共有や失敗事例の分析など、各地域の実績をジオパーク業界全体で積上げていることです。例えば、ジオパークの各推進地が個々の子ども会連絡協議会といった関係です。このネットワークは、国内だけでなく、世界までつながっています。

佐渡ジオパークは、2月に韓国の済州島世界ジオパークを視察しました。済州島は、世界自然遺産、ユネスコエコパーク、ユネスコ世界ジオパークのユネスコ3冠を有している観光の島です。複数の認定プログラムを推進している佐渡のお手本として、運営体制や機運の醸成方法を関係者に聞き取ったり、地元の人と話したりして、

今後、佐渡が取り入れるべき事例を学んできました。

この視察でお会いした方々の中には、権威のある研究者の方もいらっしゃいましたが、「ジオパークはお友達」と、ネットワークを通じて訪ねてきた佐渡ジオパーク視察団に、温かく丁寧に対応していただきました。

草の根から始まったジオパークは、ネットワークが最大の原動力であり、今後も「つながりの輪」を広げながら、地域の活性化を目指して、一緒に事業を展開していきましょう。

教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室(両津支所内)

☎27-4185



済州島世界ジオパーク視察の様子(韓国)